



教育目標

○よく考え 進んで実行する子      ○自他を大切にし 協力しあう子      ○強い体や心を持ち 仕事に励む子

今年度の重点

心を耕し、心をつなげ、未来に向かってススム・ヒロノ～たくましく学びに向かう力の育成

社会に開かれた教育課程のマネジメント

総合的な学習の時間の単元構成    国語科「文学的文章」を窓口にした深い学び    複式指導法の研究

I C T 環境を整備した学びのマネジメント

タブレット整備による学びの個性化    I C T 活用による「つながる力」の育成

期間

平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 7 月 24 日

各種調査等から

三者評価から

(矢印は前回比)

実態

国語

- 主語や述語の理解の他、文章を読む力に課題がある。
- 学年によって習得しておくべき漢字の読み書き、辞書の使い方、ローマ字などについても課題がある。

算数

- 特に高学年において、がい数・四捨五入、奇数・偶数、約数、倍数、単位量あたりの計算などに課題がある。

他教科等

- 記述も含め、様々な場面・手法での表現力に課題がある。
- 総合的な学習の時間の探究プロセスを身に付けさせる必要がある。

学習状況

- 学習規律の全校での統一、徹底については、まだ全校児童に定着しているとは言えない。
- 家庭学習の時間は十分ではない。

個に応じた指導

- 児童：3.67↑
- 保護者：3.45↑
- 学校：3.00→
- 苦手単元の把握と克服のための細かな指導についてさらに充実させたい。

学習規律の定着

- 児童：3.54↓
- 保護者：3.50→
- 学校：3.25↓
- 学習用具等の定着は見られる。学習方法の定着もさらに充実させたい。

家庭学習の定着

- 児童：3.54↓
- 保護者：3.35↓
- 学校：2.88↓
- 時間と内容についての検証と改善が必要である。

改善の方策

授業改善

- 国語科を中心に、**言語活動（話し合い・表現）**を取り入れ、複式指導を視野に入れた**学びの「広野スタイル」**を確立します。
- 定着するまで繰り返し指導**を徹底し、個に応じた指導でつまづきを確実に克服します。

学習環境整備

- 学習規律を徹底し、6年間の一貫した指導**をします。
- I C T 環境を整え**、「つながる」学びを推進します。
- 誤字脱字や書き間違いを無くすなど、**書くことに関する言語環境を整えます。**

家庭・地域との連携

- 家庭学習をシステム化し**全校統一して取り組みます。
- 家庭学習や学習の様子について**八千代中学校と交流し、情報を共有**します。

月別到達目標

授業改善

数値目標

学習環境整備

数値目標

家庭・地域との連携

数値目標

4月

○授業のはじめに課題を示し、意識させる

3.5

○机上の整理（筆記用具と教科書・ノート）

3.5

家庭学習の目標時間への取組と家庭チェックの啓発

3.5

5月

○学習課題を意識させ、「見通す」力をつける。

3.5

○机上の整理（筆記用具と教科書・ノート）

3.5

家庭学習の目標時間への取組と家庭チェックの啓発

3.5

6月

○学習を「見通す」「振り返る」力をつける。

3.6

○机上の整理とロッカー等の教室環境の整理

3.6

内容を考え、主体的に家庭学習に取り組ませる。

3.6

7月

○学習を「見通す」「振り返る」力をつける。

3.6

○机上の整理とロッカー等の教室環境の整理

3.6

内容を考え、主体的に家庭学習に取り組ませる。

3.6

評価

「子どもの姿（変容）」で成果を示す

★月別実態調査（月末に児童へのアンケート、グラフにて結果の掲示）    ★外部評価（保護者（参観日）、指導主事訪問等でのアンケート）    ★CRT、全国学力・学習状況調査、など